

## 「氷見市コンプライアンス・ガイドライン」の作成

### 1 目的

氷見市は、市全体としてコンプライアンスを推進するため、「組織」や「仕組み」について定めるとともに、職員一人ひとりがコンプライアンスについての認識を共有し、適正な判断に基づき行動できるようにするため、「氷見市コンプライアンス・ガイドライン」を作成しました。

### 2 経過

外部の有識者等で構成する「氷見市コンプライアンス委員会」での議論及び各職場の朝ミーティング等での検討を踏まえて作成しました。

### 3 内容

#### (1) 氷見市におけるコンプライアンスの定義

一般的に、コンプライアンスは、法令や社会規範、ルールを遵守することとされますが、氷見市では「市民・納税者・地域が目線で正しく判断、行動すること」と定義し、皆様からの期待に応える行動をとっていくことと定めています。

#### (2) 取組み

コンプライアンスの推進に向け、「組織」と「仕組み」の両輪で取り組みます。

##### ① 組織

内部組織及び外部機関等で、推進・相談体制を構築します。

##### ② 仕組み

「コンプライアンスの浸透」及び「未然及び再発防止策の実施」を行います。

#### (3) 職員コンプライアンス宣言及び同10箇条

##### 【職員コンプライアンス宣言】

私たちは、市民全体の奉仕者として、法令や社会規範等を遵守するとともに、自身の資質向上に努め、市民・納税者・地域に対し、ご意見に真摯に耳を傾け、説明責任を果たし、効率的・効果的に職務を遂行することで、皆様の期待と信頼に応えていくことを誓います。

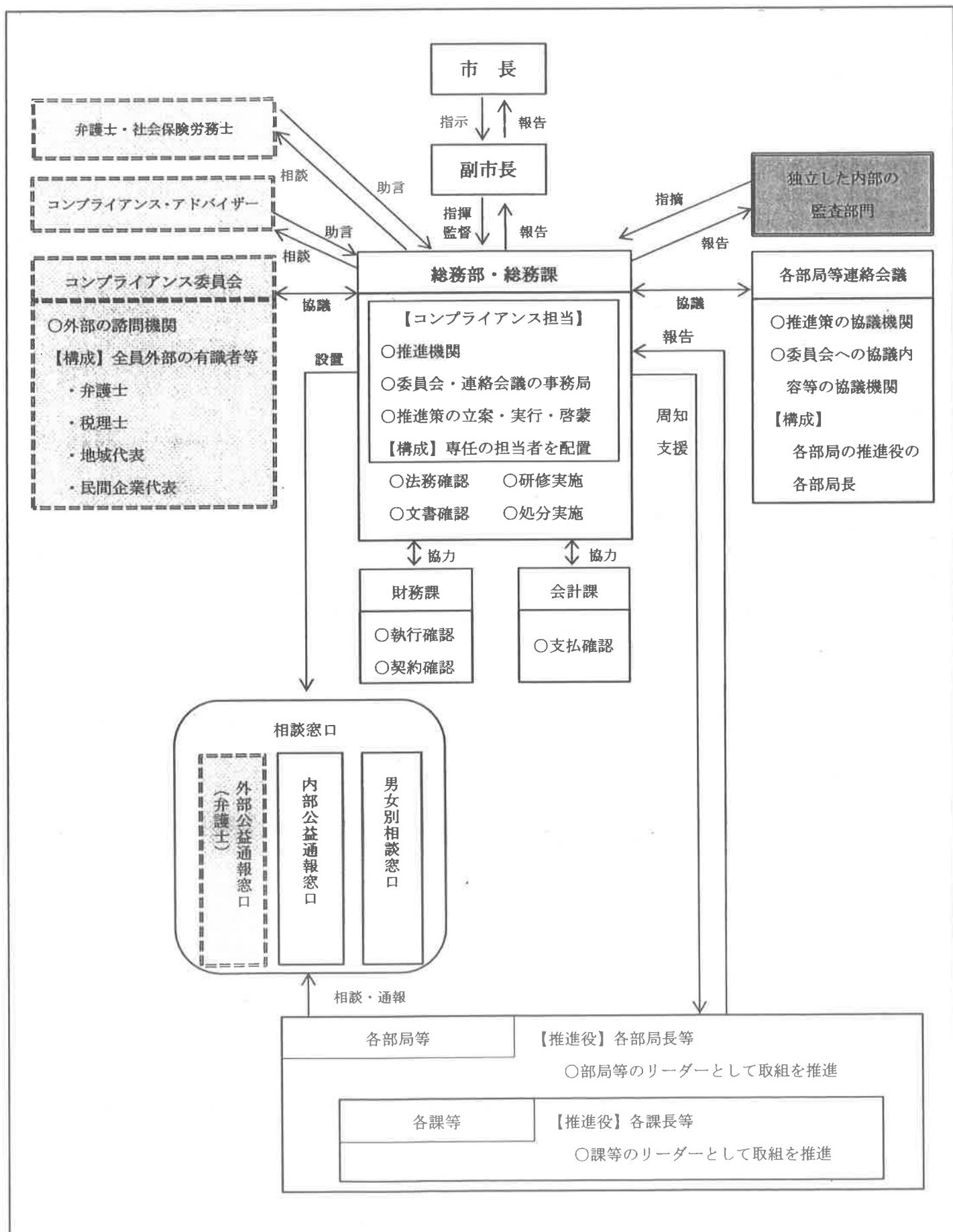
#### (4) 職員コンプライアンス行動指針

管理職や職員、所管部署が果たすべき役割を「行動指針」で明確にしました。

#### (5) コンプライアンス違反への対応

コンプライアンス違反又は重大な懸念が生じた場合における個人、組織としての対応を明確にしました。

組織図（    は外部機関等です。それ以外は内部組織で、    は内部の独立部門です。）



取組項目及びスケジュール

取組み			平成 29 年度	平成 30 年度	関係課等
1. 組織					
(1) 内部	ア. 推進体制	(ア) コンプライアンス担当	→	→	総務課
		(イ) 各部局等連絡会議	→	→	総務課、各部局長
		(ウ) コンプライアンス推進役	→	→	各部局長及び課長
	イ. 相談体制	(ア) 男女別相談窓口	→	→	総務課
		(イ) 内部公益通報窓口	→	→	総務課
(2) 外部	ア. 推進体制	(ア) 氷見市コンプライアンス委員会	→	→	総務課
		(イ) コンプライアンス・アドバイザー	→	→	総務課
		(ウ) 弁護士・社会保険労務士	→	→	総務課
	イ. 相談体制	(ア) 外部公益通報窓口		→	総務課
2. 仕組み					
(1) コンプライアンスの浸透	ア. 考え方や判断基準の共有	(ア) 「氷見市コンプライアンス・ガイドライン」の作成及び周知	→	→	総務課
	イ. 研修による意識化	(ア) 階層別研修の実施	→	→	総務課
		(イ) e ラーニング研修の実施	→	→	総務課
		(ウ) テーマ別研修の実施		→	総務課
		(エ) マネジメント研修の実施	→	→	総務課
	ウ. 習慣化	(ア) 「コンプライアンスの日」の制定	→	→	総務課
		(イ) 「コンプライアンス職場ミーティング」の実施	→	→	総務課、各課
		(ウ) 倫理週間の制定	→	→	総務課
(2) 未然及び再発防止策の実施	ア. 未然防止の取組み	(ア) 年間業務スケジュールの作成	→	→	各課
		(イ) 「業務点検チェックリスト」の作成		→	総務課、財務課、会計課
		(ウ) 未然防止の検査の実施		→	総務課、財務課、会計課、各課
		(エ) 「ケース対応ブック」の作成及び活用	→	→	総務課、各課
		(オ) 車座ミーティングの実施		→	総務課、各部局、各課
		(カ) 職員意識調査の実施	→	→	総務課、各課
	イ. 再発防止の取組み	(ア) 違反事例の周知による啓蒙	→	→	総務課、各課
		(イ) 適切なタイミングでの注意喚起	→	→	総務課